

## ∞/∞不定形のロピタルの定理

[定理] 関数  $f(t), g(t)$  は  $[b, a)$  で連続かつ微分可能とする。このとき、

$$\lim_{x \rightarrow a-0} f(x) = \infty, \lim_{x \rightarrow a-0} g(x) = \infty, \quad (1)$$

$$\lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g'(x)}{f'(x)} = A \quad (2)$$

なら、

$$\lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g(x)}{f(x)} = \lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g'(x)}{f'(x)} = A. \quad (3)$$

(証明)  $f(x), g(x)$  は連続ゆえ、このページ最後の補題2より

$$u(x) = \max\{f(x), g(x)\}, v(x) = \min\{f(x), g(x)\}$$

は連続である。また、(1)より

$$\lim_{x \rightarrow a-0} u(x) = \infty, \lim_{x \rightarrow a-0} v(x) = \infty \quad (4)$$

である。ゆえに、(4)より、十分  $a$  に近い  $c$  を固定し  $c \leq x < a$  で  $v(x) > 1$  が成立するようにできる。

さて、(4)より、十分  $a$  に近い  $x$  で  $\sqrt{v(x)} > u(c)$ 。このとき  $1 < u(c) < \sqrt{v(x)} < v(x) < u(x)$  ゆえ、 $u(c) < \sqrt{v(x)} < u(x)$  が成立。 $u(x)$  は連続ゆえ、中間値の定理により  $c, x$  の内分点  $s$  で

$$u(s) = \sqrt{v(x)}$$

となるものがとれる。 $x \rightarrow a-0$  で  $v(x) \rightarrow \infty$  より、 $x \rightarrow a-0$  で  $s \rightarrow a-0$  である。また、

$$0 < \frac{f(s)}{f(x)} \leq \frac{u(s)}{v(x)} = \frac{1}{\sqrt{v(x)}} \rightarrow 0 \quad (x \rightarrow a-0)$$

より、 $\lim_{x \rightarrow a-0} f(s)/f(x) = 0$ 。同じく  $\lim_{x \rightarrow a-0} g(s)/g(x) = 0$  ゆえ、

$$\lim_{x \rightarrow a-0} \frac{1 - g(s)/g(x)}{1 - f(s)/f(x)} = \frac{1-0}{1-0} = 1 \quad (5)$$

である。

コーシーの平均値の定理より、 $s, x$  の内分点  $t$  で

$$\frac{g'(t)}{f'(t)} = \frac{g(x) - g(s)}{f(x) - f(s)} \quad (6)$$

となるものがとれる。 $x \rightarrow a-0$  で  $s \rightarrow a-0$  より、 $x \rightarrow a-0$  で  $t \rightarrow a-0$  である。

式(5), (6)と、 $x \rightarrow a-0$  で  $t \rightarrow a-0$  であることにより、

$$\begin{aligned} \lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g(x)}{f(x)} &= \lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g(x)}{f(x)} \cdot \frac{1 - g(s)/g(x)}{1 - f(s)/f(x)} \\ &= \lim_{x \rightarrow a-0} \frac{g(x) - g(s)}{f(x) - f(s)} \stackrel{(6)}{=} \lim_{t \rightarrow a-0} \frac{g'(t)}{f'(t)} = A \end{aligned}$$

である。//

この定理は、次に示すように、教科書巻末付録「1. 極限の見直し」に解説されている  $\varepsilon$ - $\delta$  論法で、より簡潔に証明できる。

( $\varepsilon$ - $\delta$  論法による証明) 任意の  $0 < \varepsilon < 1$  に対し、 $a$  に十分近い  $c \in [b, a)$  をとり、全ての  $x \in (c, a)$  に対し

$$\left| \frac{g'(x)}{f'(x)} - A \right| < \frac{\varepsilon}{2} \quad (7)$$

とする。これは、条件(2)で保証される。このとき、

$$\left| \frac{g'(x)}{f'(x)} \right| < A + 1 \quad (c < x < a). \quad (8)$$

さて、条件(1)より、

$$\lim_{x \rightarrow a-0} \frac{1 - f(c)/f(x)}{1 - g(c)/g(x)} = 1$$

これより、 $a$  に十分近い  $d \in (c, a)$  をとり、

$$\left| \frac{1 - f(c)/f(x)}{1 - g(c)/g(x)} - 1 \right| < \frac{\varepsilon}{2(A+1)} \quad (d < x < a) \quad (9)$$

とできる。さて、任意の  $x \in (d, a)$  に対し、コーシーの平均値の定理により、

$$\frac{g'(s)}{f'(s)} = \frac{g(x) - g(c)}{f(x) - f(c)}, \quad c < s < x \quad (10)$$

なる  $s$  をとる。式(10), (8), (9) を順に用いて、

$$\begin{aligned} \left| \frac{g(x)}{f(x)} - \frac{g'(s)}{f'(s)} \right| &= \left| \frac{g(x) - g(c)}{f(x) - f(c)} \cdot \frac{1 - f(c)/f(x)}{1 - g(c)/g(x)} - \frac{g'(s)}{f'(s)} \right| \\ &= \left| \frac{g'(s)}{f'(s)} \left( \frac{1 - f(c)/f(x)}{1 - g(c)/g(x)} - 1 \right) \right| \\ &< (A+1) \cdot \frac{\varepsilon}{2(A+1)} < \frac{\varepsilon}{2}. \end{aligned} \quad (11)$$

式(7), (11)より、任意の  $x \in (d, a)$  で

$$\left| \frac{g(x)}{f(x)} - A \right| \leq \left| \frac{g(x)}{f(x)} - \frac{g'(s)}{f'(s)} \right| + \left| \frac{g'(s)}{f'(s)} - A \right| < \frac{\varepsilon}{2} + \frac{\varepsilon}{2} = \varepsilon.$$

ゆえに、 $\frac{g(x)}{f(x)} \rightarrow A$ 。//

[補題1]  $x = a$  で  $f(x)$  が連続なら、 $|f(x)|$  も連続。

(証明) まず、 $0 \leq \|f(x) - f(a)\|$ 。また、三角不等式より、

$$|f(x) - f(a)| \leq |f(x) - f(s)|, \quad |f(a) - f(x)| \leq |f(x) - f(a)|$$

ゆえ、 $\|f(x) - f(a)\| \leq |f(x) - f(a)|$ 。よって、

$$0 \leq \lim_{x \rightarrow a} \|f(x) - f(a)\| \leq \lim_{x \rightarrow a} |f(x) - f(a)| = 0.$$

ゆえに、 $\lim_{x \rightarrow a} \|f(x) - f(a)\| = 0$  となり、 $|f(x)|$  は連続。//

[補題2]  $x = a$  で  $f(x), g(x)$  が連続なら、 $\max\{f(x), g(x)\}$  と  $\min\{f(x), g(x)\}$  も連続。

(証明) 補題1より、 $|f(x) - g(x)|$  は連続。ゆえに、

$$\begin{aligned} \max\{f(x), g(x)\} &= \frac{f(x) + g(x)}{2} + \frac{|f(x) - g(x)|}{2}, \\ \min\{f(x), g(x)\} &= \frac{f(x) + g(x)}{2} - \frac{|f(x) - g(x)|}{2} \end{aligned}$$

は連続関数の加減算なので、連続。//